発達支援理論研修の評価に関するアンケート（受講者用）

１．あなたのことについて、あてはまる数字（１つ）に〇をつけてください。

（１）研修を受講した年度

1.　平成２４年度　　2.　平成２５年度　　3.　平成２６年度

（２）受講時の所属機関

1.　幼稚園　　2.　保育所　　3.　療育施設　　4.　こども園

２．研修の内容について、お聞かせください。

（１）「応用行動分析」の考え方に基づく“気になる子どもの支援”の在り方について、どの程度理解できたと感じていますか。あてはまるもの（ひとつ）に〇をつけてください。

1.　まったく理解できない　　2.　あまり理解できない　　3.　どちらとも言えない
4.　大体理解できた　　5.　大変よく理解できた

（２）（１）で１もしくは２に〇をつけられた方にお尋ねします。
研修カリキュラム、内容等も含めて、そのように思われた理由をお聞かせ下さい。

（　　）

（３）受講した内容について、保育・教育の場面で活かすことができましたか？

1.　まったく活用できなかった　　2.　あまり活用できなかった　　3.　大体活用できた
4.　大変よく活用できた

（４）（３）で１もしくは２に〇をつけられた方にお尋ねします。
そのように思われた理由をお聞かせください。

（　　）

（５）（３）で３もしくは４に〇をつけられた方にお尋ねします。
子どもの行動のとらえ方や手立てを理解し、実際に関わったことで、担当児の変化や御自身の変化等、感じた内容についてお聞かせください。

（　　）

裏面に続きます

（６）受講した内容を他の職員に伝える機会はありましたか？

1.　あった　　2.　なかった

（７）（６）で１に〇をつけられた方にお尋ねします。

どのような方法で行いましたか？（例：文書で復命、打ち合わせ、日々の保育・教育の場で、等）

（　　）

（８）（６）で 2 に〇をつけられた方にお尋ねします。

伝える機会が無かった理由について、あてはまる数字に〇をつけてください。

1.　内容が難しかった　　2.　伝える時間を確保するのが難しかった

3.　その他（　　）

３. 現場に活かしやすい今後の理論研修のあり方について、良いと思う数字に〇をつけてください。

（１）実施回数

1.　1 回　　2.　2 回　　3.　3 回　　4.　4 回　　5.　5 回以上

（２）実施期間

1.　連続して実施　　2.　間隔をあけて実施

（３）実施場所

1.　発セ付近（ゆいまーる習志野）で行う　　2.　発セの職員が施設に赴いて行う

（４）研修内容について

1.　応用行動分析

2.　応用行動分析以外（　　）

４．ひまわり発達相談センターが実施している巡回相談や研修体制等について、御意見がありましたら、お聞かせください。

（　　）

御協力、ありがとうございました。